

「御薬湯」発売のお知らせ

昭和八年より全国のリハビリ施設で使用されている入浴剤

「おやすみ羊」の湯たんぼや抱きまくら、「エステ入浴剤」などの癒し系雑貨を企画・開発する株式会社ほんやら堂（群馬県高崎市 / 代表取締役 藤永辰美）は、安政二年創業 医療用・薬用入浴剤を製造販売する乾卯栄養化学株式会社（大阪府中央区 / 代表取締役社長 乾恵美子）と共同で、昭和八年より全国のリハビリテーション施設で販売している入浴剤「御薬湯」を2009年12月10日より全国の雑貨専門店、量販、GMS等に向け発売いたします。

入浴剤の市場と問題点

現在入浴剤の市場規模は550億といわれ、約2,000種の商品が販売されています。（NPO法人 健康と温泉フォーラムより）取り扱い市場としては量販店、ドラッグストア、雑貨専門店、通販などあらゆる市場で定番の商品として販売。量販店、ドラッグストアなどでは大手企業の低価格重視の大容量タイプが占めており、雑貨専門店（ロフトや東急ハンズなど）では1包使い切りタイプが多く、売り場規模では100SKUを上回る店舗も多く、大変競争が激しい供給過多の状況にあります。

雑貨専門店に入浴剤の供給が多い背景に、入浴剤は企画・開発が比較的しやすいことから新規参入企業が多いということが上げられます。また様々な種類の入浴剤を試したいという生活者ニーズの高まりがあり、低価格の1包タイプの新商品はブランド価値や品質価値以上に、目新しさから手に取られやすい傾向があります。量販店では花王株式会社のバブ、ツムラライフサイエンス株式会社のバスクリンやきき湯などが定番商品として売れ続けていますが、雑貨専門店に入浴剤市場では定番商品として息の長い商品が生まれにくいと言われています。

入浴剤は家庭でどれくらい使われているのか

当社は当商品の企画段階の平成21年5月14日（木）～11日間「一般家庭では入浴剤をどのくらいの頻度で使用しているのか？」を調査しました。（当社ユーザーメルマガ登録者755人より回答）その結果、34%が「ほぼ毎日使用」、19%が「週に2～3回使用」、11%が「週に1回使用」、19%が「月に1～3回」、17%が「ほとんど使用しない」という、弊社の予想を大きく上回る使用頻度の高さが明らかとなる結果となりました。

この企画の狙いと「御薬湯」の価値について

そこで弊社は、雑貨専門店での定番品が生まれにくい入浴剤市場と、一般家庭の入浴剤の高い使用頻度から、昭和八年より全国のリハビリテーション施設にて愛用され続けてきた入浴剤（医薬部外品）を、デザインを一新することで雑貨専門店などの市場に流通させ、一般の方でもお気軽に自宅でリハビリテーションと同じ入浴を試すことが出来るようにし、長く愛され続ける定番入浴剤に育てていくことを目的に企画、開発しました。

[商品名] ・御薬湯 1P 189円 ・御薬湯 3P 525円 ・御薬湯 大容量タイプ 1890円

[配合成分] 塩化Na、炭酸水素Na、ホウ砂、無水硫酸Na、テレピン油、γ-オリザノール、香料、黄202（1）

[販売名] 薬用オンセンス（医薬部外品）

[商品特徴] ・昭和八年より全国のリハビリテーション施設にて愛用され続けてきた入浴剤です。

- ・御薬湯の入浴により体温を上げて、大切なカラダの健康促進をサポートします。
- ・非常に特徴のある松の精油の香りと、若葉の湯色で薬湯の実感と癒しの効果があります。

【この報道資料に関するお問い合わせはこちらまで】株式会社ほんやら堂 マーケティング部 成田
〒370-0851 群馬県高崎市上中居町45-2 TEL 027-384-2181 FAX 027-310-6226
E-mail:toiawase@honyaradoh.com [URL:http://www.honyaradoh.com](http://www.honyaradoh.com)